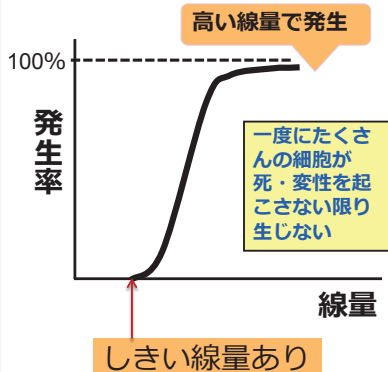


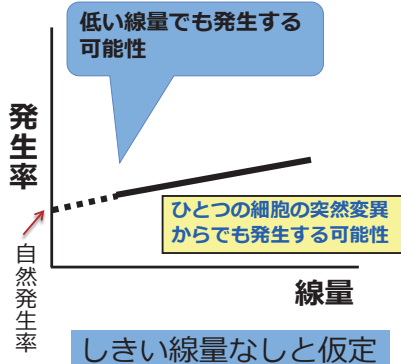
## 確定的影響

(細胞死/細胞変性が引き金)



## 確率的影響

(突然変異が引き金)



確定的影響には、これ以下では影響がみられない、これ以上浴びると影響が現れるというしきい線量があるといわれています。しきい線量を超えると、一度にたくさんの細胞死や変性が起こり、影響の発生率は急激に増加します。

一方、放射線防護では、確率的影響にはしきい線量はないと仮定されています。理論上どんなに低い線量でも影響が発生する確率はゼロではないことになります。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2015年3月31日